

患者さまへ

GLP-1 受容体作動薬[※]の治療中止要因の分析

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

※GLP-1 受容体作動薬: グルカゴン様ペプチド-1 受容体作動薬

1 研究の対象	2024年3月より2024年6月までに湘南藤沢徳洲会病院内分泌・糖尿病内科を受診されたGLP-1受容体作動薬を処方されたことのある2型糖尿病の患者さま
2 研究目的・方法	GLP-1受容体作動薬の治療が中止になる要因を明らかにするために診療録の情報から、ベイジアンネットワークというデータ分析法を用いて分析します。 研究の期間: 施設院長許可(2024年9月予定)後~2025年5月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、病歴(GLP-1受容体作動薬、他の糖尿病治療薬及び他の治療薬、GLP-1受容体作動薬の中止または他の薬剤への変更の有無、心血管病変合併症及びその他糖尿病合併症(脳・神経・腎臓・眼)、GLP-1受容体作動薬最終使用時の1ヶ月あたり薬剤自己負担費用)、消化器症状発現の有無、GLP-1受容体作動薬開始3ヶ月時点の検査値(HbA1c)の変化 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 氏名: 三澤晴雄 (研究責任者) 病院名・所属、職位: 湘南藤沢徳洲会病院 内分泌・糖尿病内科 医長 住所: 神奈川県藤沢市辻堂神台 1-5-1 連絡先: 0466-35-1177

2024年09月02日作成(第1.1版)